

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

* 岡山天体物理観測所構内の4等三角点

2009年2月23～24日、天文台歴史観測隊のメンバーの一人として古巣の岡山天体物理観測所に行った。古巣といっても岡山の観測所を出たのは昭和41年、今は昭和84年であるから43年も前に巣立っている。国立天文台の三鷹キャンパスには一等三角点がある。2000年まで国立天文台の観測所であった堂平観測所構内にも一等三角点があった。岡山天体物理観測所構内の三角点は観測所が設置された後に設置された三角点のように思う。写真1がその4等三角点の上に組まれた檣で、これは航空測量のために建てた記憶がある。



写真1 岡山天体物理観測所構内の4等三角点と日周運動



写真2 三角点の標識



写真3 国土地理院の札

写真2は三角点の標識であるが、これは現場の大きな岩の上に埋め込まれており、一等三角点のように石の柱が立っているわけではない。そしてすぐ横の岩の割れ目に「三角点を大切に」という国土地理院の札が立っている。

写真4は、三鷹キャンパス内にある一等三角点である。



写真4 国立天文台三鷹キャンパス内の一等三角点